

2021年10月3日 聖霊降臨後第十九主日礼拝説教
「神が結ばれたもの」(マルコ10章1～9節)

○マルコ10章1～9節について

「イエスはそこを立ち去って、ユダヤ地方とヨルダン川の向こう側に行かれた。」(1節)

①そこ：ガリラヤ湖畔の町「カファルナウム」(9章33節)

②ヨルダン川の向こう側：エルサレムから東に下ったところにあるペレア地方
救い主イエスは十字架につけられるため、ガリラヤから離れユダヤとペレアに入られた。そこで人々に教えられていると、ファリサイ派の人たちが「夫が妻を離縁することは、律法に
適っているでしょうか」(2節)と尋ねてきた。

「天地創造の初めから、神は人を男と女とにお造りになった。」(6節)

☞キリストは、神が男と女を造り、夫と妻を結ばせ、「二人は
一体となる。」(8節)と語られ、その絆の強さを示された。

今日のみことば：マルコ10章9節

「^{かみ}神が^{むす}結び^あ合わせてくださったものを、^{ひと}人は^{はな}離してはならない。」

*結び合わす：【原語】くびきで二つのものを一つに結ぶ

救い主イエスは、結婚とは神の許しの下で一人の男と女が一つに結ばれて、共に神の恵みと命を受け継ぐためのものなので、人の力により引き離してはならないと教えられた。

※わたしたちの思いだけに基づいて〈夫と妻との関わり〉を捉えるのではなく、二人を一つに結ばれた神を仰ぎ見つつ、その結びつきの中で施される神の憐れみを祈り求めよう。

「キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたち」(ローマ6章3節)

*結ばれる：【原語】二つのものを一つにする。一体となる。

使徒パウロは、「十字架を信じ、洗礼を受けたわたしたちはキリストの聖さと義しさ、救いと赦しに結ばれている」と教える。信仰と洗礼をとおして、あなたもキリストと一つにされ、この方によって、永遠の救いと命に与っている。